

第7回 Communicative Musicality 研究会 ご案内

Communicative Musicality 研究会は、人や生物の生命事象の中の「音楽性」をさがす勉強会です。音楽と生命との関係に関心のある方、どなたでも、お気軽にご参加ください。

と き／2019年8月9日（金） 17時～19時

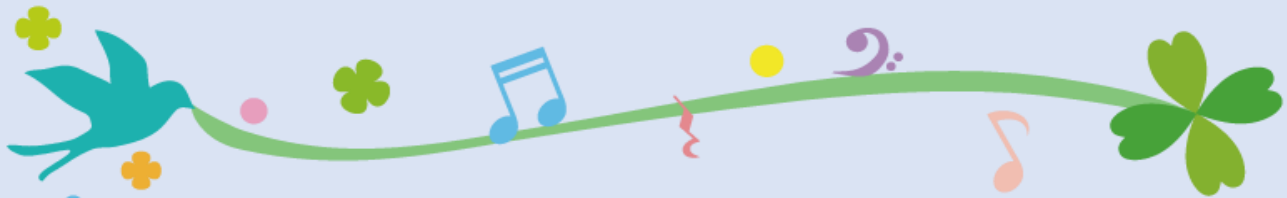
場 所／名古屋市立大学 山の畑キャンパス1号館 5F 508 セミナー室

話題提供／山本真実（岐阜県立看護大学 准教授／育成期看護学領域）

テ ー マ／「共同体における音楽性」

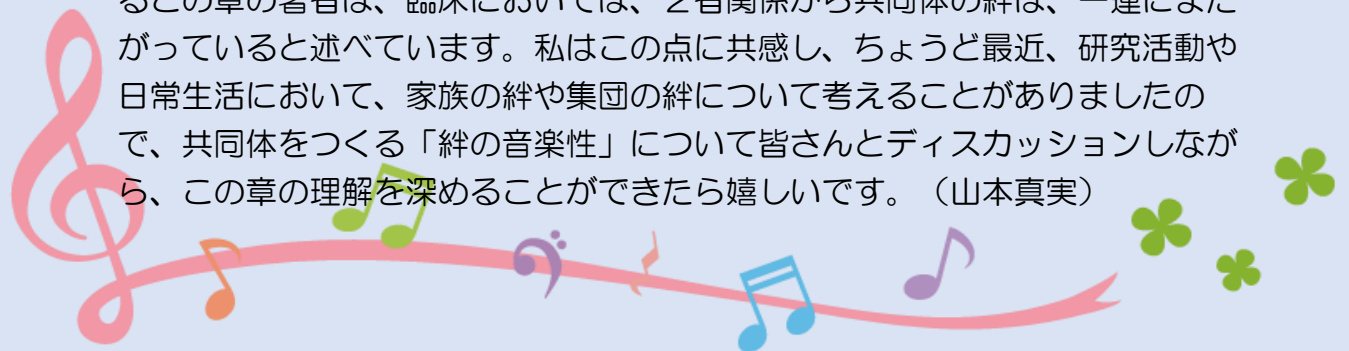
参考文献／Communicative Musicality: Exploring the basis of human companionship.(2009)
Oxford Univ. Press.(『絆の音楽性』根ヶ山光一ほか監訳、音楽之友社、2018) 第16章

参加費・申込み／無料・申込不要



～第16章「コミュニカティブ・ミュージカリティとコラボレイティブ・ミュージキングのはざままで：コミュニティ音楽療法からの展望」について～

第16章は研究会で以前にも取り上げられましたが、今回、私は看護や最近の関心事から Communicative Musicality 理論がもつ多様な可能性について考察してみたいと思いました。この章では、音楽性が2者関係を越えた社会的・文化的なレベルでどのように働くのかを検討しています。音楽療法士であるこの章の著者は、臨床においては、2者関係から共同体の絆は、一連にまたがっていると述べています。私はこの点に共感し、ちょうど最近、研究活動や日常生活において、家族の絆や集団の絆について考えることがありましたので、共同体をつくる「絆の音楽性」について皆さんとディスカッションしながら、この章の理解を深めることができたら嬉しいです。（山本真実）



問い合わせ／野村直樹

名古屋市立大学大学院人間文化研究科
<052>872-5166（526 研究室直通）
e-mail:nomura@hum.nagoya-cu.ac.jp
<https://nomuraoffcampus.com/>

発起人／野村直樹、古賀弘之、服部裕規